

ダントピックス

北海道立林業試験場

27

カスミザクラで花見を2度楽しもう！

カスミザクラは、道内では日高地方を中心に自生しているサクラで、公園などにもまれに植栽されていますが、その特性はあまり知られていません。そこで、カスミザクラの開花特性について、平成12～14年の3年間にわたり調査してきました。

江別市大麻駅付近での調査の結果、平成13年は、エゾヤマザクラの満開日が5月9日頃であり、カスミザクラは5月18日頃でエゾヤマザクラに比べ9日ほど遅く咲きました。平成14年でも、エゾヤマザクラは4月29日頃、カスミザクラが5月10日頃であり、カスミザクラが11日ほど遅く咲きました(図)。3年間通してカスミザクラは、エゾヤマザクラに比べ満開日が10日ほど遅く、エゾヤマザクラが落花し、葉ザクラになった頃に開花していました(写真)。カスミザクラを計画的にエゾヤマザクラなどと混植することにより、開花のピークが2度できる、つまり、花見が2度楽しめるということになります。

今後、さらにカスミザクラの開花特性や環境適応性を明らかにしていくとともに、より鑑賞価値の高い優良な個体の選抜と増殖を行っていきたいと思います。

(生産技術科)

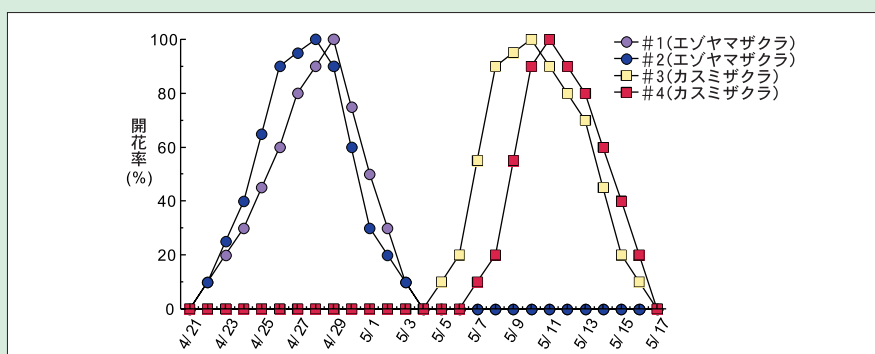


図 カスミザクラとエゾヤマザクラの開花期間の比較 (平成14年)



4月29日 カスミザクラ(矢印): まだ芽吹いていません
エゾヤマザクラ: 満開 (写真奥)



5月10日 カスミザクラ(矢印): 満開
エゾヤマザクラ: すでに落花し葉ザクラ

写真 平成14年のカスミザクラとエゾヤマザクラの開花状況 (左右同じ場所)